



愛知淑徳大学 (愛知県)

生きた日本語を学び、日本語で世界を広げよう

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

愛知淑徳大学は1975年に女子大学として開学しました。大学創立20周年となる1995年には時代の変化・社会の多様性に応じるため、男女共学に移行し「違いを共に生きる」という理念のもと、男女の性差だけでなく、国籍の違いを越えて、外国人留学生や年齢や世代の異なる社会人を受け入れるようになりました。現在では、12学部5研究科、留学生別科を擁する総合大学に発展し、毎年9千人近い学生がともに学んでいます。

本学には、星が丘キャンパス（名古屋市）と長久手キャンパス（長久手市）の2キャンパスがあります。長久手キャンパス内には外国人留学生の宿舎として国際交流会館（通称：アイハウス）が設置されています。

留学生別科は星が丘キャンパスにて開講されています。



② 国際交流の実績

【留学生在籍数】28人（内留学生別科生20人）
【大学間交流協定校】21カ国・地域 50大学
※いずれも2024年10月1日現在

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2024年：留学生数（全学）51人、日研生1人
2023年：留学生数（全学）49人、日研生4人
2022年：留学生数（全学）43人、日研生3人
※留学生数は各年度在籍学生数のため、複数年度在籍している学生については重複がある。

④ 地域の特色

名古屋市は230万人を超える人口を擁し、大都市としての利便性を備えつつも東京や大阪ほどは混んでおらず、住みやすい都市です。日本の中央に位置しているため、東京、大阪、京都、奈良へも短時間で行くことができます。

留学生別科がある星が丘キャンパスは、名古屋市地下鉄東山線「星ヶ丘」駅徒歩3分とアクセスもよく、駅周辺には飲食店や商業施設も充実しています。名古屋駅、栄駅など名古屋市の中心部へも乗り換えをせずに行くことができ便利です。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b)主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

【コース名】留学生別科日本語コース

【コースの特色】

「生きた日本語」を学ぶための場として1992年に設立されました。少人数クラスで一人ひとりのニーズに可能な限り対応する授業を行っています。

授業にはレベルに応じた日本語を学ぶ日本語科目と、実践や体験を重視した日本文化科目があります。上級レベルの学生は、所定の学部科目の履修もあり、日本人学生と共に学ぶ機会が提供されています。

③ 受入定員

4名（大使館推薦3名、大学推薦1名）



④ 受講希望者の資格、条件等

- 1) 最低12年の正規の学校教育を修了し、大学入学資格すべてを満たしていること。または、これに準ずる資格を有することが必要です。
- 2) 最終学歴校の成績が100点満点中、平均75点以上であること。または、GPA4.00のうち2.75以上を取得していることが望まれます。

⑤ 達成目標

- ・「聞く・話す・読む・書く」の4技能を通して、基礎的な力から語彙力・表現力を伸ばし、自分の考えを日本語で適切に表現できるクリエイティブな力をつけること。
- ・併せて日本事情・日本文化に関する理解を深めること。

⑥ 研修期間（在籍期間）

秋学期：2025年9月下旬～2026年1月下旬
（在籍期間：2025年9月1日～2026年3月31日）

春学期：2026年4月中旬～2026年8月上旬
（在籍期間：2026年4月1日～2026年8月31日）

⑦ 奨学金支給期間

2025年9月 ～ 2026年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

【2025年秋学期】

- ・9月中旬 渡日、オリエンテーション
プレースメントテスト
- ・9月下旬 授業開始
- ・12月 冬季休業（12月下旬～1月上旬）
- ・1月 秋学期授業終了、定期試験



【2026年春学期】

- ・4月 春学期授業開始
- ・7月 春学期授業終了
- ・8月 定期試験
- ・8月下旬 帰国

⑨ コースの修了要件

以下の3条件を満たすと修了証書が与えられ、成績証明書も発行されます。早期終了は原則不可ですが、ご希望の場合はご相談ください。

- ①留学生別科に2学期在籍すること
- ②各学期に16単位以上を修得し、合計32単位以上を修得すること
- ③各学期に修得する単位には、日本語科目を8～16単位（レベルにより異なる）を含んでいること

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴
各クラス原則として、1週間に午前中4時間の会話や視聴解の授業、6時間の読解・作文の授業の合計10時間（日本語Ⅰ・Ⅱは12時間）と午後90分の日本語演習があります。演習では、午前中に学習した日本語を使った様々なクラス・アクティビティを行います。

日本語Ⅰ～Ⅳのクラスでは、聴解練習の授業も設けられています。
カリキュラムの一部に学部科目を組み込み、日本人学生と共修できる機会を設定しています。

2) 研修・コース開設科目

Ⅰ) 必須科目
日本語能力を高めることができるよう、少人数制をとっています。レベルに合わせて履修する授業・時間数は異なります。



総合	「話す、聞く、読む、書く」4技能の力を総合的に伸ばします。
聴解	レベルに応じた「聞く」力をつけます。
会話	様々な場面、トピックに合わせた「話す」力をつけます。
読解	様々なタイプの文章を読み、「読む」力をつけます。
作文	レベルに合わせて適切に「書く」力をつけます。
演習	スピーチ、ディスカッションの練習をします。
視聴解	日本の社会事情について動画で内容を理解し、それに対する意見をまとめ、発表する練習をします。

Ⅱ) 選択科目

体験型の日本文化科目を実施しています。各科目1週間1回90分の授業です。

【華道（2単位）】

毎週その時季にあった花を生けることで、日本文化の理解に欠かせない季節感についても学ぶことができる授業です。

【書道（2単位）】

紙、筆、墨を使い、簡単な線の引き方、墨の濃淡、潤濁の基本を習います。ひらがな、漢字のはねやはらい、書き順等に注意をはらいながら書いていきます。



3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

【CCCキズナプロジェクト (2単位)】

「まち」の活性化や地域社会が抱える課題に対して、実際にアクションを起こしていくプロジェクト型の授業です。行政や商店街、企業、NPOなどと連携して問題解決にチャレンジします。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

※クラスによって履修できる科目が違います。

【Japanese Popular Culture (2単位)】

海外で日本の文化がどのように、なぜ人気になっているのかを学びます。

【日本語学1・2 (2単位)】

日本語を言語学的手法で分析し、日本語の体系を学びます。

【日本語教育入門 (2単位)】

日本語や日本語学習者、教授法や教材、日本語教育の関連分野について講義を行います。

【ケーススタディ言語11 (日本語学) (2単位)】

日本語を日本語使用の実態に基づいて、自分で分析することを通してとらえ直します。

【コミュニケーション論1 (コミュニケーション論入門) (2単位)】

生活におけるコミュニケーションの果たす役割の理解を深めます。

【交流文化4 (多文化共生) (2単位)】

人種・世代・性別など多様な価値観が混在している多文化社会における共生の問題を考察します。

⑩ 指導体制

日本語の授業は経験豊富な複数の教員がチームを組んで進めていきます。複数の教員が担当することで、多角的に日本語が習得できます。また、演習では一人ひとりの習熟度や必要に応じた指導も行うことで日本語の力を伸ばすようにしています。

■ 宿 舎

【国際交流会館 (通称: アイハウス)】

アイハウスは長久手キャンパスに設置された、学生寮を含む多目的施設です。1階にはセミナー室、和室、茶室、多目的ラウンジ、調理室があり、2・3階が留学生の生活する寮になっています。アイハウスには管理人が常駐しているほか、日本人レジデントアシスタントも共に生活し、留学生のサポートにあたっています。

【居室】

留学生の居室はすべて単身室です。
〈面積〉12.86㎡
〈部屋数〉2階29室、3階24室
〈設備〉ベッド、机、椅子、デスクランプ、冷蔵庫、エアコン、収納棚、カーテン、インターネット回線

【共同施設】

寮生の共同施設として、キッチン、リビング、ダイニング、スタディールーム(3階のみ)、ミニラウンジ、シャワールーム、トイレ、ランドリー(洗濯機、乾燥機)、自動販売機があります。スタディールームには、共同で使えるノートパソコンとプリンターが設置され、リビングではWiFiの利用が可能です。

【周辺環境】

長久手キャンパス周辺には、スーパーマーケット、飲食店、衣料品店等があり、大変便利です。大学の正門からは名古屋市営バスが出ており、最寄りの地下鉄の駅まで15～20分、名古屋市中心部の栄までは地下鉄に乗り換えて30分で行くことができます。



【居室使用料】

保証金:(入居時のみ)40,000円
居室使用料:月額20,000円
維持管理費:月額5,000円
電気代:実費
清掃料:(退去時のみ)5,000円

【留学生サポート】

日本人学生ボランティアによる、留学生バディ制度があります。星が丘キャンパスにはグローバルラウンジと呼ばれる多言語・多文化交流ラウンジがあり、各種交流イベントが行われています。

■ 修了生へのフォローアップ

進学を希望する留学生に対して、教員、スタッフによる相談が受けられます。

【修了後の進路例 (キャリアパス)】

- ・大学・大学院への進学
- ・帰国後 就職先企業にて日本語翻訳担当
- ・JETプログラム参加
- ・専門学校進学

■ 問合せ先

〈担当部署〉
愛知淑徳大学国際交流センター

住所: 〒464-8671
愛知県名古屋市千種区桜が丘23

TEL: +81-052-783-1590 (直通)
FAX: +81-052-783-1578
Email: goglobal@asu.aasa.ac.jp

〈ウェブサイト〉
愛知淑徳大学国際交流センター:
www.aasa.ac.jp/institution/international
愛知淑徳大学:
www.aasa.ac.jp